

旭川大学をベースとした公立大学の
設置に関するアンケート調査結果
(進路指導担当教員アンケート)

平成 3 0 年 ○ 月

旭川市総合政策部政策調整課

目 次

I 調査概要

1	目的	1
2	調査項目	1
3	対象者	1
4	調査方法	1
5	調査期間	1
6	回収結果	1
7	調査結果の表し方	1

II 調査項目別分析

1	旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況について	2
2	旭川大学をベースにした公立大学の設置について	3
3	旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する課題について	4
4	旭川に公立大学が設置された場合に期待することについて	5
5	あった方が良くと考えられる大学等の学部・学科について	6
6	ものづくり系学部の案について	7
7	意見等	10

III アンケート調査票

1	前文	13
2	添付資料	14
3	調査票	16

I 調査概要

1 調査目的

旭川大学をベースとした公立大学の設置について検討を進めるに当たり、市内全日制高校の進路指導担当教員の意見を把握するために実施した。

2 調査項目

Q 1	性別
Q 2	旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況について
Q 3	旭川大学をベースにした公立大学の設置について
Q 4	旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する課題について
Q 5	旭川に公立大学が設置された場合に期待することについて
Q 6	あった方が良くと考えられる大学等の学部・学科について
Q 7	ものづくり系学部の案について
Q 8	意見等

3 対象者

旭川市内の高校に在籍する全日制高校の進路指導担当教員

4 調査方法

各高校が調査票を調査対象教員に配布し、アンケート調査を行った。

高校ごとにとりまとめた調査票を政策調整課が回収し、集計する方法で実施した。

5 調査期間

平成29年11月28日～12月22日

6 回収結果

性別	合計
男性	53
女性	10
未記入	6
合計	69

7 調査結果の表し方

- ・ 回答率 (%) の母数は、その調査項目に該当する回答者数 (=N) である。
- ・ 未記入の人数は、調査項目ごとの未記入の数であるので、合計は全体と一致しない場合がある。
- ・ 百分率は少数第2位を四捨五入し、少数第1位までを表示しているため、回答率の合計が 100.0% にならない場合がある。
- ・ 複数回答の設問では、回答率の合計が 100.0% を超える場合がある。

II 調査項目別分析

1 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況

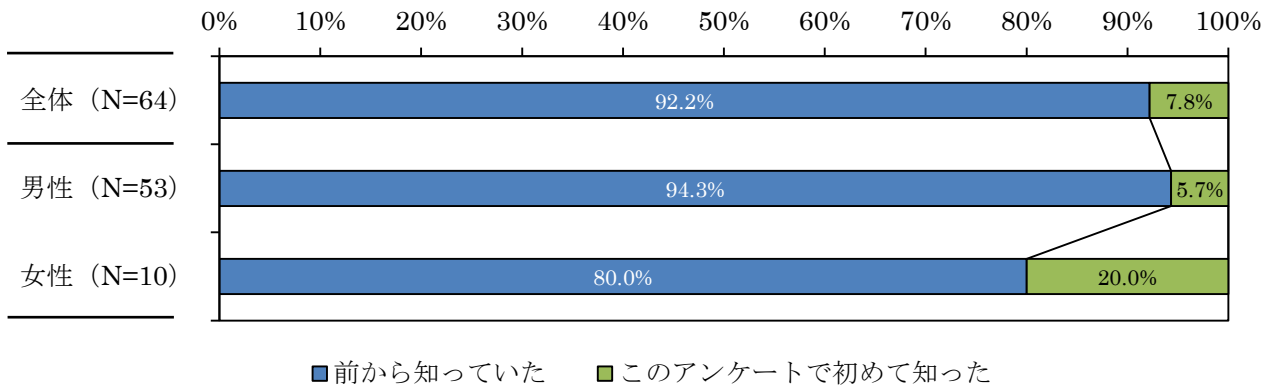
Q 2 市が旭川大学をベースにした公立大学の設置を検討していることをご存知でしたか。

旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況の回答については、「前から知っていた」が59人(92.2%)、「このアンケートで初めて知った」が5人(7.8%)と、ほとんどの教員が「前から知っていた」を選択した結果であった。

【集計結果】

表Ⅱ－1 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況（単位：人）

市の検討状況		男性		女性		未記入		合計	
1	前から知っていた	50	94.3%	8	80.0%	1	100.0%	59	92.2%
2	このアンケートで初めて知った	3	5.7%	2	20.0%	0	0.0%	5	7.8%
回答者数		53	100.0%	10	100.0%	1	100.0%	64	100.0%
未記入		0		0		5		5	
合 計		53		10		6		69	



図Ⅱ－1 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する市の検討状況

2 旭川大学をベースにした公立大学の設置について

Q 3 旭川大学をベースにした公立大学の設置についてどう思いますか。

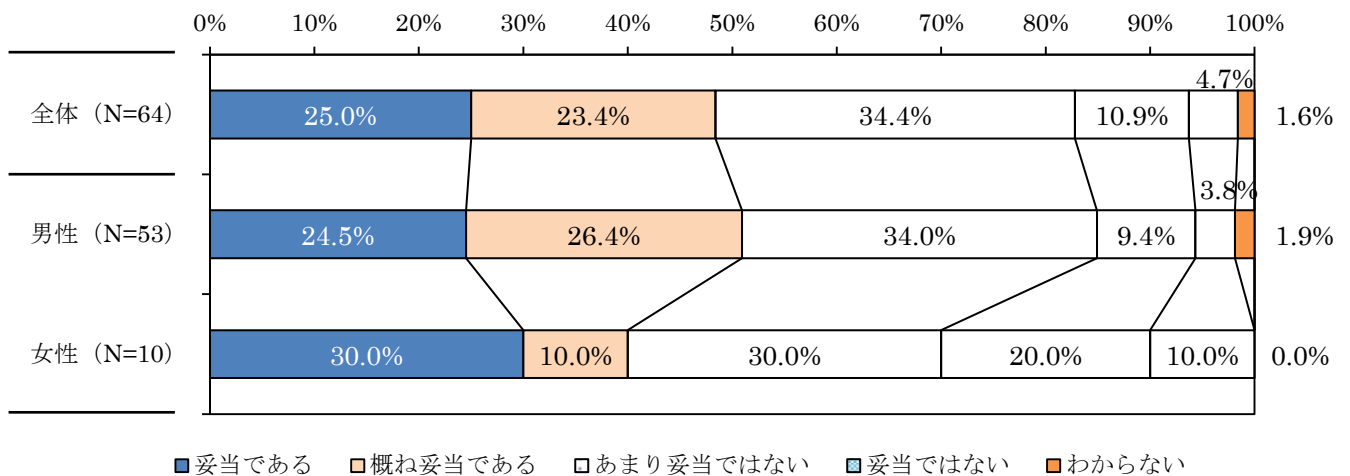
旭川大学をベースにした公立大学の設置についての回答については、「妥当である」が 16 人 (25.0%) で、「概ね妥当である」が 15 人 (23.4%) であった。

一方、「妥当ではない」は 3 人 (4.7%)、「あまり妥当ではない」は 7 人 (10.9%) であった。
 なお、「どちらともいえない」は 22 人 (34.4%) であった。

【集計結果】

表Ⅱ－２ 旭川大学をベースにした公立大学の設置について（単位：人）

公立大学の設置について		男性		女性		未記入		合計	
1	妥当である	13	24.5%	3	30.0%	0	0.0%	16	25.0%
2	概ね妥当である	14	26.4%	1	10.0%	0	0.0%	15	23.4%
3	どちらともいえない	18	34.0%	3	30.0%	1	100.0%	22	34.4%
4	あまり妥当ではない	5	9.4%	2	20.0%	0	0.0%	7	10.9%
5	妥当ではない	2	3.8%	1	10.0%	0	0.0%	3	4.7%
6	わからない	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
回答者数		53	100.0%	10	100.0%	1	100.0%	64	100.0%
未記入		0		0		5		0	
合 計		53		10		6		69	



図Ⅱ－２ 旭川大学をベースにした公立大学の設置について

3 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する課題について

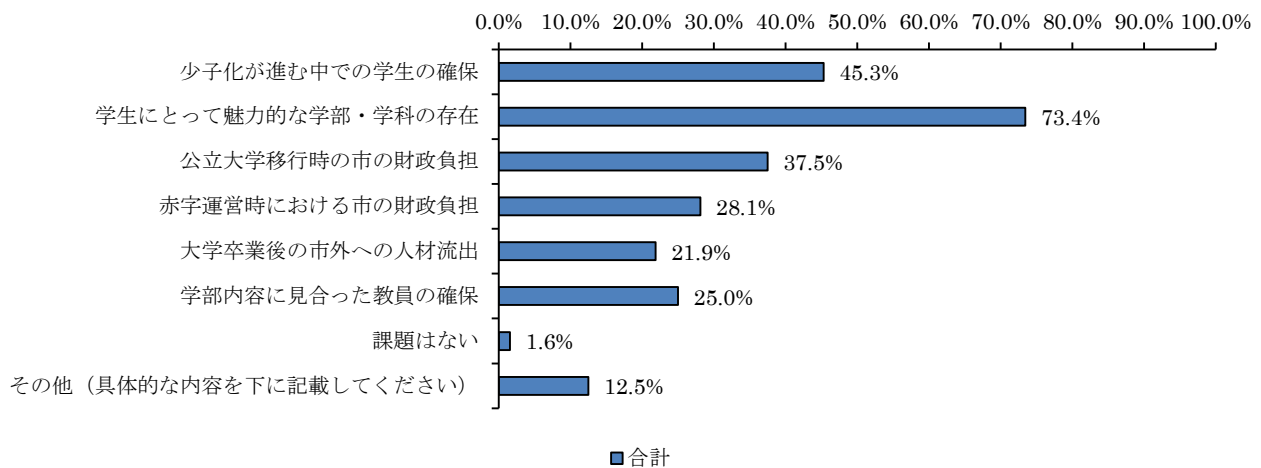
Q 4 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関しての課題は何だとお考えですか。次の中から3つまで選んでください。

旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する課題についての回答については、「学生にとって魅力的な学部・学科の存在」が47人（73.4%）と最も多く、次いで「少子化が進む中での学生の確保」が29人（45.3%）、「公立大学移行時の市の財政負担」が24人（37.5%）の順であった。

【集計結果】

表Ⅱ－3 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する課題について（単位：人）

公立大学の設置に関する課題		男性		女性		未記入		合計	
1	少子化が進む中での学生の確保	20	37.7%	8	80.0%	1	100.0%	29	45.3%
2	学生にとって魅力的な学部・学科の存在	42	79.2%	5	50.0%	0	0.0%	47	73.4%
3	公立大学移行時の市の財政負担	18	34.0%	5	50.0%	1	100.0%	24	37.5%
4	赤字運営時における市の財政負担	15	28.3%	3	30.0%	0	0.0%	18	28.1%
5	大学卒業後の市外への人材流出	12	22.6%	1	10.0%	1	100.0%	14	21.9%
6	学部内容に見合った教員の確保	14	26.4%	2	20.0%	0	0.0%	16	25.0%
7	課題はない	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
8	その他（具体的な内容を下に記載してください）	6	11.3%	2	20.0%	0	0.0%	8	12.5%
回答者数		53	100.0%	10	100.0%	1	100.0%	64	100.0%
未記入		0		0		5		5	
合 計		53		10		6		69	



図Ⅱ－3 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関する課題について

4 旭川に公立大学が設置された場合に期待すること

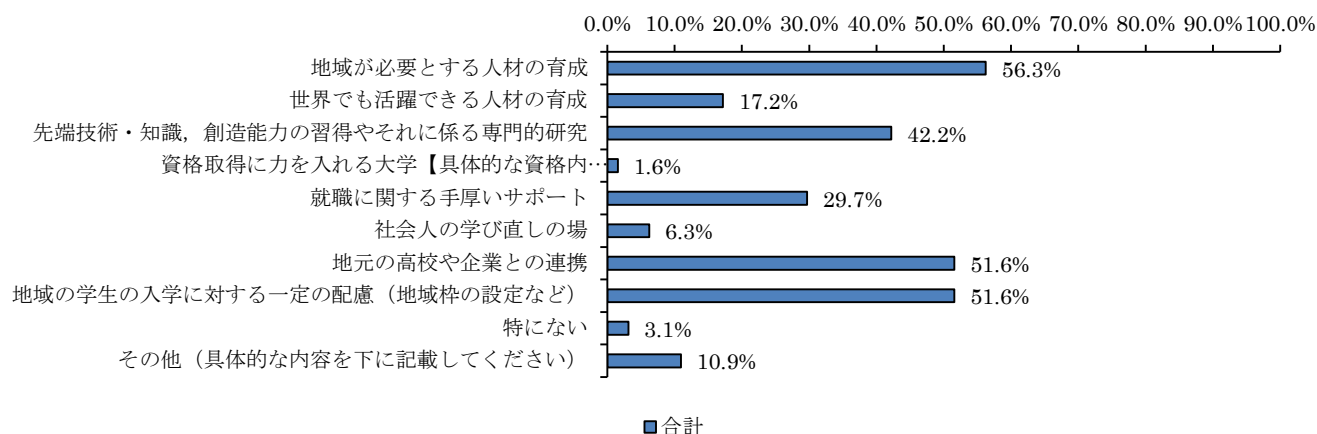
Q 5 旭川に公立大学が設置された場合、何を期待しますか。次の中から3つまで選んでください。

旭川に公立大学が設置された場合に期待することの回答については、「地域が必要とする人材の育成」が36人（56.3%）と最も多く、次いで「地元の高校や企業との連携」及び「地域の学生の入学に対する一定の配慮（地域枠の設定など）」が33人（51.6%）、「先端技術・知識、創造能力の習得やそれに係る専門的研究」が27人（42.2%）の順であった。

【集計結果】

表Ⅱ－4 旭川に公立大学が設置された場合に期待すること（単位：人）

公立大学に期待すること		男性		女性		未記入		合計	
1	地域が必要とする人材の育成	28	52.8%	7	70.0%	1	100.0%	36	56.3%
2	世界でも活躍できる人材の育成	9	17.0%	2	20.0%	0	0.0%	11	17.2%
3	先端技術・知識、創造能力の習得やそれに係る専門的研究	23	43.4%	4	40.0%	0	0.0%	27	42.2%
4	資格取得に力を入れる大学【具体的な資格内容： 】	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
5	就職に関する手厚いサポート	13	24.5%	5	50.0%	1	100.0%	19	29.7%
6	社会人の学び直しの場合	3	5.7%	1	10.0%	0	0.0%	4	6.3%
7	地元の高校や企業との連携	28	52.8%	4	40.0%	1	100.0%	33	51.6%
8	地域の学生の入学に対する一定の配慮（地域枠の設定など）	30	56.6%	3	30.0%	0	0.0%	33	51.6%
9	特になし	2	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.1%
10	その他（具体的な内容を下に記載してください）	6	11.3%	1	10.0%	0	0.0%	7	10.9%
回答者数		53	100.0%	10	100.0%	1	100.0%	64	100.0%
未記入		0		0		5		5	
合計		53		10		6		69	



図Ⅱ－4 旭川に公立大学が設置された場合に期待すること

5 あった方が良いと考えられる大学等の学部・学科

Q 6 旭川に公立大学が設置された場合、あった方が良く考えられる学部・学科について3つまでお答えください。

あった方が良く考えられる学部・学科の回答については、「看護学」が24人(42.9%)、「経済・経営学」が17人(30.4%)、「保健・医療・介護」が14人(25.0%)の順であった。

表Ⅱ-5 あった方が良く考えられる大学等の学部・学科(単位:人)

	あった方が良い学部・学科	男性		女性		未記入		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	文学・史学	4	8.7%	0	0.0%	0	-	4	7.1%
2	法律・政治・行政	4	8.7%	3	30.0%	0	-	7	12.5%
3	経済・経営学	15	32.6%	2	20.0%	0	-	17	30.4%
4	心理学・哲学	5	10.9%	2	20.0%	0	-	7	12.5%
5	外国語・国際関係学	9	19.6%	3	30.0%	0	-	12	21.4%
6	社会学・社会福祉学	4	8.7%	1	10.0%	0	-	5	8.9%
7	教育学	3	6.5%	0	0.0%	0	-	3	5.4%
8	理学	5	10.9%	0	0.0%	0	-	5	8.9%
9	工学	6	13.0%	1	10.0%	0	-	7	12.5%
10	情報科学・情報工学	8	17.4%	3	30.0%	0	-	11	19.6%
11	環境学	4	8.7%	1	10.0%	0	-	5	8.9%
12	農学	7	15.2%	0	0.0%	0	-	7	12.5%
13	獣医学	1	2.2%	0	0.0%	0	-	1	1.8%
14	畜産学	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	0.0%
15	医学	1	2.2%	0	0.0%	0	-	1	1.8%
16	歯学	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	0.0%
17	薬学	3	6.5%	1	10.0%	0	-	4	7.1%
18	看護学	19	41.3%	5	50.0%	0	-	24	42.9%
19	保健・医療・介護	14	30.4%	0	0.0%	0	-	14	25.0%
20	食物・栄養学	7	15.2%	2	20.0%	0	-	9	16.1%
21	芸術・美術	4	8.7%	2	20.0%	0	-	6	10.7%
22	その他(具体的に)	3	6.5%	0	0.0%	0	-	3	5.4%
回答者数		46	100.0%	10	100.0%	0	-	56	100.0%
未記入		7		0		6		13	
合計		53		10		6		69	

6 ものづくり系学部の案

Q7 現在、市が検討している別紙のものづくり系学部の案についてどう思いますか。

ものづくり系学部の案についての回答については、「良い」が9人（14.8%）で、「概ね良い」が13人（21.3%）であった。

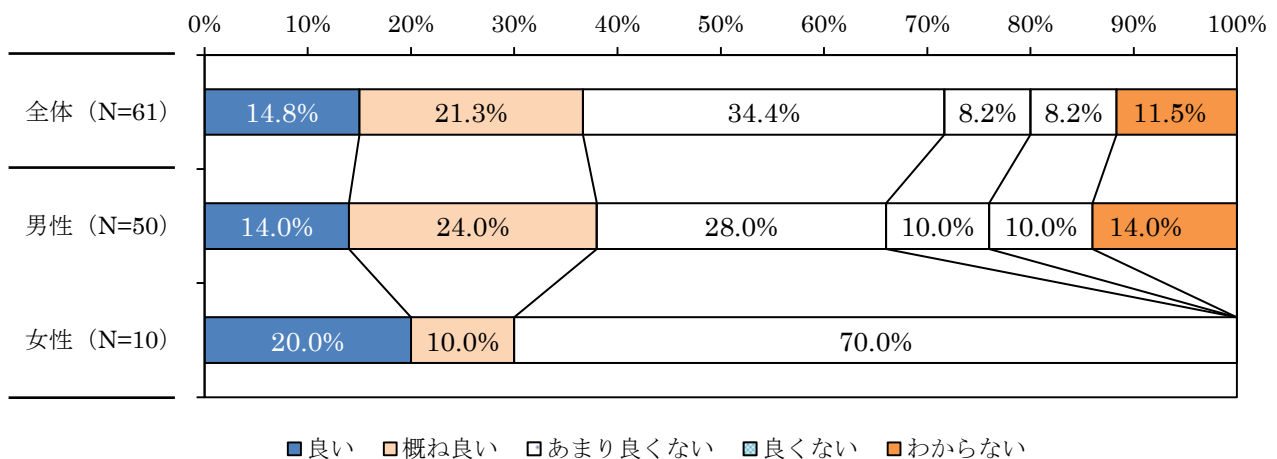
一方、「良くない」及び「あまり良くない」はいずれも5人（8.2%）であった。

なお、「どちらともいえない」は21人（34.4%）であった。

【集計結果】

表Ⅱ－6 ものづくり系学部の案について（単位：人）

ものづくり系学部の案		男性		女性		未記入		合計	
1	良い	7	14.0%	2	20.0%	0	0.0%	9	14.8%
2	概ね良い	12	24.0%	1	10.0%	0	0.0%	13	21.3%
3	どちらとも言えない	14	28.0%	7	70.0%	1	100.0%	21	34.4%
4	あまり良くない	5	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	8.2%
5	良くない	5	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	8.2%
6	わからない	7	14.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	11.5%
回答者数		50	100.0%	10	100.0%	1	100.0%	61	100.0%
未記入		3		0		5		3	
合 計		53		10		6		69	



図Ⅱ－5 ものづくり系学部の案について

ものづくり系学部 の案について	主な自由意見
1. 良い + 2. 概ね良い	<ul style="list-style-type: none"> ・その後の社会での活躍の場や指導者の確保など多岐にわたり課題認識と具体的方策を 考えてほしい。 ・旭川の地域産業の発信につながる。 ・技術や地域にしっかり定着させることは重要なことと考えます。 ・東海大旭川校を復活してほしい。 ・ものづくり系の企業がこういった学生を求めているのか、どういう人材が不足している のか PR していただく機会があると良いと感じます。 ・別紙のイメージや、人材育成像を見ると、“ものづくり”ということばとのギャップ がある。検討されている内容には賛成するためです。 ・公立大である以上、地元の要請に応える学部、学科が必要。
3. どちらとも言え ない	<ul style="list-style-type: none"> ・専門学校ではなく大学で学ぶ意味をどこまで見いだせるかが課題 ・他大学との競争、他国との競争に勝てる学部になれる（勝算がある？）のかがポイント です。 ・名前からして何を具体的にやるのかわからない。さらにものを造る職人養成を目指し ているように感じる。もしそうならば大学にする必要はなく専門学校で十分である。 大学にする以上ものづくりに関する研究機関である必要があり、それにはネーミング センスがかなり必要と思われる。あくまで大学は研究機関であり、ものづくりに関す る人材育成が主たる目的なのであれば専門学校で良い ・主旨は理解できるが、若者にニーズがあるか疑問。 ・東海大の二番煎じ？同じようなスタイルか？今あるものをどうするか、今あるものを 生かすもいいが、30年先、50年先の世の中を見据え、そのとき旭川をどんなまちに したいのか、という長期的ビジョンも大事と考えます。道外の人意見～おかげはち もく～の視点を参考にすべき ・新学部設立にあたり、十分な教員の確保がみこまれるか不安。それが目処がたってい るのであれば、良い案だと考える。
4. あまり良くない + 5. 良くない	<ul style="list-style-type: none"> ・「新たな発想で、ものごとを創造することができる特色ある学部」よりも、既存の学 部（学群）から、特色ある学科、コースという方法の方が多様に富み魅力を感じる。 ・具体性があまりなく結局何を学ぶ学部なのは今ひとつわからない。 ・学部イメージがあまり伝わってこない。入学者が集まる見込みはあるのか？リサーチ はきちんとしているのか？ニーズはあっているのか？ ・学習内容が多岐にわたっており学部の目標がぼやけそう。 ・学生のニーズに対応している感じがしないので、募集に不安を感じる。また、市の財 政面で余裕はないのでは？ ・受験生のニーズに合っているか疑問はある。他大学にない学部や安定的に学生の集ま る学部があると良い。 ・高校生の需要がない。企業側も求めてはいないと思う。

ものづくり系学部の案について	主な自由意見
4. あまり良くない + 5. 良くない	<ul style="list-style-type: none"> ・この学部が将来どういう形で旭川や北海道を支えるのか不明。 ・この系統を志望する学生は全国的に見ても少数派。学生が集まるとは思えない。独自性を求めると学生は集まらない、他と同様の学部では埋もれてしまう。いずれにしても今の時代に公立化はメリットが見当たらない。 ・どんな学部学科となり、どんな人材育成を目指すのか不明。東海大旭川校に人が集まらなかった二の舞になるのではないか。
6. わからない	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に、どのような授業として行うのかイメージがわからないから（高等技術専門学校的发展形？） ・家具のまちではあるが、大学としての教育の必要性があるかはわからないから ・かつて東海大に同じような学部が存在したが、地元との関わりや必要性が薄く、結局消滅してしまった。その二の舞にならないよう十分考える必要がある。

7 意見等

Q8 旭川大学をベースにした公立大学の設置などについて、御意見がありましたら記入してください。

主な自由意見

【検討状況に関すること】

- ・ぜひ、旭川・道北地区をより一層活性化させるための起爆剤としてほしい。経済向上の一つとなることを期待する。
- ・全国的な傾向として公立化した大学には、公立化以前より優秀な学生が多く集まるということがありますので、道北の中心都市である旭川という地域性を考えれば、例えば、名寄や釧路などを十分しのぐ大学になり得ると思います。市にとって、一時的な財政支出を補って余りあるメリットがあると考えています。
- ・全国的に見ても多くの私大が、現在、公立化を目指しており、規制が厳しくなる前に旭大も公立化への移行を急いで進めてほしい。
- ・道北圏は経済的に苦しい家が数多くあり、それが理由で進学をあきらめたり、進学先が限定されたりしている生徒が数多くいる。それらの生徒の受け皿となりつつ、名寄と競合しない形で、公立大ができることは良いと思う。
- ・親元から通える大学が一番、現在の親の考えに合っている。親が子に行かせたい大学、子が行きたい大学というのが地元にあるのはとてもいいこと。その条件は、経済的負担が少ない、地元で就職できる、地元でいながら広い視野が養えるということ。魅力的なら全国から学生が集まり、全国から集まるとレベルが上がり、地元の高校生ももっと勉強するようになる。そんな大学でなければなくてもいいと考える。
- ・日本全国から旭川に魅力を感じた学生が集まり、市の行事などに積極的に参加する。田舎にあるため大企業でのインターンシップがしにくい状況になる。学生任せではなく、大学自体もインターンシップできる企業を開拓して欲しい。
- ・地元の高校生が通い、地元で活躍できる人材を育成できる大学にして欲しい。公立化により入試の難易度が上昇してしまい地元に通える大学がなくなる高校生が増えることを心配している。何らかの対策をした上で公立化して欲しい。大学を運営するにあたりノウハウを持つ旭川大学がベースになることは普通。
- ・北海道には北大以外の総合大学がなく、特に文系や文理融合型といった学部は不足していて道外へ流出せざるを得ない状況にあります。旭川医大や教育大旭川校と連携し、市全体で総合大学と言えるものになるようになると良いと考えます。(理系は千歳も公立化し、北見・室蘭を考えると別の切り口が必要ではないか)
- ・国立大(旭医大・旭教大)と肩を並べるつもりはあるか?単科大学と連携、補完しあう関係になれる大学が地元にとって魅力あふれる大学になるのではないだろうか?そのためにも、総合大学になること、魅力的な教育者・研究者を配置することを望みます。

主な自由意見

- ・旭川市として打ち出す公立大学の目指す将来像やまちづくりをする上での重要点（学科や特色）が見えてこない。市の税金を使うのであれば市に繋がる大学であることが望ましい。その上で、経営経済、保健福祉の低い市内定着率を抱えたまま公立にして良いのだろうか。
- ・そもそも公立大を設置したからと言って「活気あるまちづくり」ができるかという考えに疑問を感じる。交通網は整備されていない、住みやすいまちづくりにはほど遠い等、「若年層が流出しないまちづくり」をしてこなかったツケが公立大設置で変わると言うことにいささか取って付けた理由にしか感じられない。経営シミュレーションについても黒字となる見通しだが信憑性に欠ける。上手くいかなかったときのツケは市民が払うことになることを肝に銘じ行政が本気になって取り組んでもらいたい。
- ・旭川の将来を担う産業は何か？15年後くらいを考えて大学の方向性を考えるべきかと思います（当然研究が必要ですが）。
- ・設置ありきで議論すべきではなく、少子化の見通し、地域・学生のニーズなどを慎重に分析すべきだと思う。の声を反映して欲しい。

【運営に関すること】

- ・赤字になり市の財政負担が生じないよう最大限努力することが前提

【学部に関すること】

- ・旭川という地域に根ざした研究や教育、情報発信が可能で、高校生の進路選択に繋がる学部を設置していただければ。
- ・医大周辺の医療系専門学校も巻き込み、医療・福祉系の学部を充実させてほしい。
- ・札幌の学生が集まっている大学の学部学科から学生が流入するような学部の設置が必要
- ・認可される学部学科がポイントだと思います（隣接する地域との関係も条件だったりすると聞いたので）。独自性ならば、観光などの分野もありかと考えます。外国人誘致など。空港もあり、北海道の中心に位置していますし。
- ・現在ある学科をベースに公立化を考えて行く方が良いのではないかと。
- ・北海道立旭川高等技術専門学院との棲み分けも考えるとデザインを学べること、かつ地元に残る人材とすることを考えていただきたい。
- ・ものづくり系学部を設置するなら東海大跡地の方が適当ではないかと。
- ・旭川以北の地域にはない学部学科を是非設置して欲しいが、今までの私大のイメージをどこまで変えられるかが課題。
- ・土地は旭川大学を活用しても良いが、現行の学部学科を引きずってはいけない。
- ・名寄市立大学と重なる学部学科が多い中で、どう差異を図り、魅力ある大学づくりをして学生を集めるのか、難しいと思う。もし薬学部ができれば、高倍率で学生は集まると思う。また、旭川という地域柄、医療系のニーズは高い。
- ・現存する学部・学科とものづくり系をどう調整するのか、ミスマッチがおこりそうだ。

主な自由意見

- ・学部のイメージから学部学科を考えたとき、工学部家具学科とかの方が何をやるのかわかりやすい。そこでは家具をつくるための研究がなされていて、素材やデザイン、木を切ったり削ったりする道具に関する研究をしていますといった方がよほどわかりやすい。また、森を保全したりするために農学や環境学などが必要で、それらの学部があつたりすると学部間の横のつながりが見えて良い。今のままでは無理矢理感が大きくて、何をどうしたいのかがわからない。
- ・要するに現在の旭川大学が設置する学部学科に「デザイン」学科を付け焼き刃的に付け足すだけの変更になるような印象を受ける。抜本的な改編・改革を公立化に向けてする気がないように感じる。

【大学の環境に関すること】

- ・校舎やキャンパスの雰囲気も受験決定の大きな要素になる。ものづくりを主体としたいのなら、それに合わせた魅力あるキャンパス作りが必要である。
- ・高校生は、道外のオープンキャンパスに行つて、まず立地条件を最優先に見る。次に校舎やキャンパスの雰囲気、そして学生の様子を見て主観的に受験したいかどうかを決定する。学部を増やして旭川の大きな大学づくりを目指すのなら旭川大学ベースで良いと思う。ただし、魅力的なキャンパスにするためには大きな変革が必要となり、多額の費用が必要になる。また、短期大学部の中の必要な学科は学部へと転換した方が良い。他の大学の開学時には、担当者が何度も多くの高校へ足を運び、高校からの要望を聞きながら準備を進めていったのを覚えている。旭川から全国へ優秀な卒業生を出し、それによって全国から優秀な高校生が集まる環境にするためにも、市内だけではなく市外、道外の高校生や進路担当者の声を集めてはどうか。市内や地域の高校生だけを集めるのでは優秀な学生は育たないと思う。

旭川大学をベースとした公立大学の設置に関する アンケート調査の実施について

現在旭川市では、人口減少が進む中においても、活気があるまちづくりを進めていくために、旭川大学をベースにした公立大学の設置に関して、有識者の方々から様々な御意見をいただきながら検討を行っております。

公立大学は私立大学に比べて、少ない学費の負担で学ぶことができ、また、旭川に公立「ものづくり大学」の開設を目指す市民の会から要望されている内容などを踏まえて、デザインから経営まで幅広い分野を学ぶことができる学部等を新設することで、進路の選択肢が広がり、また、多くの若者でまちが賑わい、地域経済の活性化や地域が必要とする人材の育成・供給にもつながるといった効果が期待でき、意義がある取組であると考えております。

一方、旭川大学をベースに公立大学を設置した際には、新学部の設置に伴い、新たな費用が一定程度生じる可能性があり、また、公立大学の運営に当たっては、入学金や授業料などのほか、学部や学生数を基に国から市に交付される地方交付税等で運営していくこととなりますが、18歳人口が減少する中では、学生数を確保し続けることができなければ、大学の運営は厳しくなることが見込まれます。このため、学生が学びたいと思うような魅力的な大学であることが必要です。

こうしたことから、市として今後の検討を進めていくに当たりまして、広く市民の皆様や高校生、また実際に進路指導をされている先生からも御意見を頂きたいアンケート調査を実施することとしましたので、大変お手数ですが、添付しております資料を御一読いただいた上で、アンケートに御回答くださいますようお願いいたします。

1 回答方法

11月30日（木）以降を目処に回収にお伺いいたします。

2 問い合わせ先

旭川市役所 総合政策部 政策調整課

電話：0166-25-5358

Mail：seisakuchosei@city.asahikawa.lg.jp

①旭川大学の学部・学科の概要について

旭川大学は、2学部のほか短期大学部と大学院を有しています。各学部・学科の概要及び平成29年度時点における収容定員・現員、定員充足率等は以下のとおりです。

旭川大学をベースとした公立大学の設置に関するアンケート調査 添付資料

学部	学科	学科等の概要	H29年5月1日時点における定員等	卒業生の就職率	就職者の市内企業定着率
経済学部	経営経済学科	S43(1968)年の大学開学以来ある学部です。グローバルな視野とローカルな視点を兼ね備え、地域でフィールド調査を行うなど生きた経済に触れ、実践的に学ぶことを重視し、地域で活躍できる人材を育成します。	定員：400人 現員：327人 充足率：81.8%	90.1%	43.8%
保健福祉学部	コミュニティ福祉学科	国家資格である「社会福祉士」「精神保健福祉士」の取得をめざし、地域社会の中で生きづらさを抱えている人や困難な状況にある人たちに寄り添い、支援し、地域のまちづくりに貢献できる福祉の専門家を育成します。	定員：180人 現員：107人 充足率：59.4%	94.2%	33.0%
	保健看護学科	国家資格である「看護師」「保健師」の取得をめざし、地域で暮らす誰もが健康な毎日を送れるように、多様な看護の役割やさまざまな場面でのニーズに応えることのできる保健・医療のエキスパートを育成します。	定員：240人 現員：270人 充足率：112.5%		
短期大学部	生活学科 生活福祉専攻	国家資格である「介護福祉士」の取得をめざし、日常生活を送ることに困難がある高齢者や障がいがある方に心身の状況に応じた介護を行い、生きがいをもって毎日過ごせるようにサポートができる専門家を育成します。	定員：100人 現員：42人 充足率：42.0%	96.4%	60.4%
	生活学科 食物栄養専攻	国家資格である「栄養士免許」が卒業と同時に取得できます。病院や福祉施設、給食センター、保育所などで食事の管理と栄養指導を行う食のスペシャリストを育成します。田植えから収穫まで行う農業体験実習もあります。	定員：100人 現員：99人 充足率：99.0%		
	幼児教育学科	国家資格である「幼稚園教諭2種免許」と「保育士」が卒業と同時に取得できます。子どもの心を理解し寄り添うことができる保育者をめざし、地域での豊富なボランティア体験や実習を通して、人間性や実践力を養います。	定員：200人 現員：177人 充足率：88.5%		
大学院	地域政策研究科	地域を担う人材の実践的な育成を目的に、在職者の方にも通学しやすいよう昼夜開講制で研究の場を提供しています。H29からは地域と関わりがより明確となるよう、研究科の名称を「地域政策研究科」に変更しました。	定員：14人 現員：9人 充足率：64.3%	-	-

※就職率は、平成29年3月に卒業した学生の数値ですが、未就職者の中には大学院等への進学者も含まれます。

②旭川大学の地域に関わる活動事例について

まちづくりに関わる事業

- 豊岡まちづくり推進協議会との交流事業
～地域コミュニティの活性化と住民交流の増大を目指した地域活性化イベントに参加し、世代間交流を促進。
- 世代間交流事業「むかし遊びを楽しもう」
～永山支所や社会福祉協議会等と協働し、大学近隣の地域に居住する高齢者と子どもたちの交流を促進。
- 7条緑道「まちなかキャンパス」事業
～月に1回程度オープンセミナーを開催し、研究成果を発表するとともに交流会を開催。
- 旭川市委託事業「私の未来プロジェクト」
～命の大切さや、親となることの意識を育む機会を出前講義や体験実習による提供。
- 世界にひとつだけの、「君の椅子プロジェクト」
～新しい生命誕生の喜びと幸せを地域で分かち合うため、生まれてきた子ども達に椅子を贈る取組を実施。

まちの分析

- 旭川市と近隣8町の商業構造分析
～小売業に着目し、統計分析や聞きとり調査から、近隣8町における旭川市の果たす役割を研究。
- OAE(あえる)事業
～週末や平日の夜に、市民を対象にした、コミュニティ福祉や経済経営等の身近なテーマや直面する問題を取り上げた講座を毎年開催。
- 旭川大学地域研究所による研究
～地域課題の調査研究のほか、地域再生研究会やシンポジウムの開催など、地域の発展に貢献する取組を実施。
- 冊子「アプカシズム」発行
～旭川中心街の10本の中小路を取材し、「歩いて旭川らしさを」知る冊子を発行し、中小路のノスタルジックな魅力を電子書籍で発信。

③ものづくりデザイン系学部について（検討中）

学部における人材育成像

学部のイメージ

旭川が有する地理的環境や自然環境、旭川家具をはじめとする産業基盤など、豊富な地域資源をフィールドとして活用しながら、感性と創造力を磨き、変化の激しい社会の中でも新たな発想でものごとを創造することができる特色ある学部の設置を検討しています。

- デザインから経営などの幅広い分野の修得により、創造的で自律した人材を育成します。
- 地域が抱える様々な課題を発見し、多角的かつ複合的にアプローチし、柔軟な発想を持って解決策を導ける人材を育成します。
- 国内のみならず、世界に目を向けることのできる広い視野と深い洞察力を備え、グローバル社会に適応できる人材を育成します。

④経営シミュレーションについて

右の表は、現在の旭川大学を公立化した場合の経営状況をシミュレーションしたものです。

〈前提条件〉

- ・公立化した以降の学生数は、平成28年度の大学と短大を合わせた定員数1,254人（定員充足率が100%）となった場合をn年度として試算しています。
- ・入学金や入学検定料、授業料については、道内の他の公立大学や類似の公立短大の額などを基に設定し、経常費補助金については、現在の旭川大学と短大の学科を基に国から市に地方交付税として交付される額と同額を、市から大学に対して交付することを想定しています。
- ・支出については、平成28年度の大学と短大を合わせた額と同額としています。

〈シミュレーション結果〉

平成28年度決算の収支がマイナス約9,100万円だったものが、公立化した場合のn年度ではプラス約3億5,000万円となると見込まれます。

項目	公立化前	公立化後
	平成28年度	n年度
入学定員充足率	81.1%	100.0%
学生数(人)	1,018	1,254
学生納付金(千円)	1,056,657	918,943
手数料(千円)	15,214	8,912
経常費補助金(千円)	256,544	844,116
その他(千円)	54,151	54,151
教育活動収入計(千円)	1,382,564	1,826,200
教育活動支出計(千円)	1,473,646	1,473,646
収支差額(千円)	▲91,083	352,475

※千円未満切り上げのため、合計が一致しない場合があります。

参 考

⑤市への要望書提出の経過について

日付	内容等
平成23年11月	旭川に公立「ものづくり大学」の開設を目指す市民の会から要望書提出（要望要旨） 豊かな自然を有する旭川地域の独自性を強く打ち出し、デザイン、木工芸、建築関連、金属工芸、農業、食品関連産業など、広く「ものづくり」を建学の精神に据えた公立大学開設に向けて具体的にご検討いただけますようお願い申し上げます。
平成24年11月	旭川に公立「ものづくり大学」の開設を目指す市民の会から要望書提出（要望要旨） 平成25年度の旭川市予算に公立「ものづくり大学」についての調査費を計上し、議論の場をつくって下さい。
平成25年2月	旭川大学から要望書提出（要望要旨） 旭川市におかれましては、公立大学設置を検討するに当たって、本学園が有するこれまでの大学経営と実績を評価された上、道北の中核市として次世代のための新たな大学の在り方を本学園と共に再創造するための協議をさせていただくことを要望するものです。
平成28年2月	旭川大学から要望書提出（要望要旨） 旭川市長におかれましては、かかる本学園の置かれた状況、使命と役割にご理解と共感をいただき、旭川大学の公立大学法人化を推進くださいますようお願いするものです。

アンケート調査票

*あてはまる番号（数字）に○印をつけてください。

Q1 あなたの性別についてお尋ねします。

1. 男性

2. 女性

Q2 市が旭川大学をベースにした公立大学の設置を検討していることをご存知でしたか。

1. 前から知っていた

2. このアンケートで初めて知った

Q3 旭川大学をベースにした公立大学の設置についてどう思いますか。

1. 妥当である
2. 概ね妥当である
3. どちらともいえない
4. あまり妥当ではない
5. 妥当ではない
6. わからない

Q4 旭川大学をベースにした公立大学の設置に関しての課題は何だとお考えですか。次の中から3つまで選んでください。

1. 少子化が進む中での学生の確保
2. 学生にとって魅力的な学部・学科の存在
3. 公立大学移行時の市の財政負担
4. 赤字運営時における市の財政負担
5. 大学卒業後の市外への人材流出
6. 学部内容に見合った教員の確保
7. 課題はない
8. その他（具体的な内容を下に記載してください）

（具体的に）

Q5 旭川に公立大学が設置された場合、何を期待しますか。次の中から3つまで選んでください。

1. 地域が必要とする人材の育成
2. 世界でも活躍できる人材の育成
3. 先端技術・知識、創造能力の習得やそれに係る専門的研究
4. 資格取得に力を入れる大学【具体的な資格内容：
5. 就職に関する手厚いサポート
6. 社会人の学び直しの場
7. 地元の高校や企業との連携
8. 地域の学生の入学に対する一定の配慮（地域枠の設定など）
9. 特にない
10. その他（具体的な内容を下に記載してください）

（具体的に）

Q6 旭川に公立大学が設置された場合、あった方が良くと考えられる学部・学科について3つまでお答えください。

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1. 文学・史学 | 2. 法律・政治・行政 |
| 3. 経済・経営学 | 4. 心理学・哲学 |
| 5. 外国語・国際関係学 | 6. 社会学・社会福祉学 |
| 7. 教育学 | 8. 理学 |
| 9. 工学 | 10. 情報科学・情報工学 |
| 11. 環境学 | 12. 農学 |
| 13. 獣医学 | 14. 畜産学 |
| 15. 医学 | 16. 歯学 |
| 17. 薬学 | 18. 看護学 |
| 19. 保健・医療・介護 | 20. 食物・栄養学 |
| 21. 芸術・美術 | |
| 22. その他（具体的な内容を記載してください） | |

〔具体的に〕

Q7 現在、市が検討している別紙のものづくり系学部の案についてどう思いますか。

1. 良い
2. 概ね良い
3. どちらとも言えない
4. あまり良くない
5. 良くない
6. わからない

※選択した具体的な理由について御意見があれば記入してください。

〔御意見〕

Q8 旭川大学をベースにした公立大学の設置などについて、御意見がありましたら記入してください。

〔御意見〕

◎御協力ありがとうございました。